令和3年度 小樽地区の研究活動

研修部長 小樽市立長橋小学校

校長 渡 辺 琢 中

はじめに

小樽市小学校長会は、市内 17 校の校長をもって構 成されている。本会の研究活動は、これまで、確か な学力・豊かな心・健やかな体の育成、学校の自主 性・自立性の確立、教職員の意識改革等の課題を解 決し、本市の小学校教育の改善・充実を目指し、校 長会としての一体感を大切にしながら、組織的な実 践を積み上げてきた。

また、本市においては、小樽市教育委員会のリー ダーシップのもと、市民の信頼に応える学校づくり を目指した小樽市教育推進計画が示されており、各 ◇8月3日 小樽地区教育経営研修会◇



校においては、市民の負託と家庭や地域の期待に応える小学校教育を推進するため、「推進計画」 に基づく学校経営の充実に向けた改善に取り組んでいる。

今年度は、第64回北海道小学校長会教育研究石狩・千歳大会(オンライン開催・誌上交流)に おいて、2年次研究2年目のまとめとして本会の取組を提言し、本市はもとより北海道教育のま すますの発展・充実に資するべく研究・研修活動に取り組んでいる。

2 研究計画

(1)研究課題

「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」 ~主体的に学び 小樽の未来を創る 心豊かな人づくり~

(2)研究組織

小樽市の小学校の統廃合により、現在は、専門部を組織部、研修部、厚生部の3部会 編制とし、研究活動を推進している。

3 研究活動(各専門部の活動)

(1)組織部

法令に基づき、愛情と信頼を基盤とした学校経営の確立を目指して、今日的な課題を踏 まえ、校長としての職務の遂行や指導性を一層発揮し、関係法令の研究と調査活動を進め、 本市小学校の学校経営の充実を図る。

- ① 小樽地区教育経営研修会に関する業務
- ② 関係法規の整備、「校長必携」の編集業務
- ③ 小樽市小学校生活指導委員会に関する業務
- ④ 小樽市学校生活指導連絡協議会に関する業務
- ⑤ 小樽市PTA連合会、北海道PTA連合会の事業に関する連携協力
- ⑥ 通学路除排雪に関する資料作成、要望に関する業務
- ⑦ 資料や情報提供に関する業務 など

(2) 厚生部

学校給食関係諸機関との連携調整の窓口となるとともに、学校保健関係諸機関との連携に努め、学校保健の向上に寄与する。また、校長会の福利厚生と親睦に関する業務を推進する。

- ① 学校給食関係諸機関との連携及び学校給食の向上への寄与
- ② 学校保健・安全関係諸機関との連携及び学校保健の向上への寄与
- ③ 福利厚生及び関係機関との連携に関する業務
- ④ 業務内容に係る調査及び研究に関する業務
 - · 小樽市学校給食運営協議会 · 小樽市学校給食共同調理場運営委員会
 - · 小樽市学校給食衛生委員会 · 小樽市学校保健会
 - 小樽市定期健康診断会議小樽市教職員体育大会推進委員会
 - ・ メンタルヘルスセミナー事業推進会議 など
- ⑤ 会員相互の親睦に関すること

(3) 研修部

全連小・道小の研究課題との関連において、研究テーマを設定し、本市の実態と学校教育 上の課題を踏まえ、校長の果たすべき役割と校長としてのリーダーシップの発揮の在り方に ついて研究を進める。

<研究テーマ>

「学校経営ビジョンの実現を図るための組織づくりにおける校長の役割と指導性」

<研究課題>

- ◇ 学校経営ビジョンの実現へ向けた運営組織の構築と組織的な取組の推進
- ◇ 活力ある学校運営の推進へ向けた組織活性化の推進

<研究計画>

1年次 全市アンケートによる実態把握、研修会の実施、実践交流

2年次 まとめ、発展(本年度)

4 まとめ

本年度は、第64回北海道小学校長会教育研究石狩・千歳大会(オンライン開催・誌上交流)において、道小の研究主題と関連した「組織・運営」に関する小樽市小学校長会の研究(2年次計画)の2年次目の取組を推進し、新しい時代を見据えたグランドデザインの策定や学校評価への位置付け、組織運営の活性化等について、その研究成果を全道に発信できたことを成果としてあげたい。

また、「学校組織の機能化と人材育成」を重点目標として掲げ、小樽市小学校長会全体で共通実践を行い、活力ある学校運営の実現を目指す実効性のある組織づくりに引き続き取り組むことができたことも大きな価値があるものと捉えている。

新型コロナウイルス感染症やGIGAスクール構想、高学年の教科担任制などの様々な情勢の変化に対して柔軟に対応し、家庭や地域との連携・協力体制を構築して社会に開かれた教育課程の実現を目指すべく、明確に示めされた学校経営ビジョンの策定と、機動的かつ機能的な組織運営を推進する校長のリーダーシップが求められている。

新しい時代を迎えるに当たり、学校組織の再編や活力ある運営を実現するための方策、キャリアステージに応じた積極的な人材育成等、校長が果たすべき役割と指導性についての課題は山積している。小樽市小学校長会は、今後とも本市の学校教育に関する課題に対し組織が一体となって粘り強くその解決に向けて取り組み、学校改善に資する研究活動をオール小樽・チーム小樽で推進していきたい。